



発表を行う代表児童

いじめ防止子ども会議を開催

村教育委員会では1月12日、「昭和村いじめ防止子ども会議」を公民館多目的ホールで開催しました。

これは、児童生徒がいじめ防止のための取り組みを進めていくとともに、いじめのない学校づくりについて話し合うために開催されたもの。

会議では、各校の代表児童生徒が、それぞれ年間を通して取り組んできた、いじめ防止活動を発表。また、他校の取り組みに対する情報交換も行い、いじめ防止へ意識を高めていくことを改めて確認しました。

イチゴ 1・5の日にイチゴ狩り

いちご農園かめハウスでは1月5日、1・5の日にちなでいちご狩りをオープン。新春の味覚を楽しもうと県内外から多くの人が訪れました。

また、この日は餅つき体験やつきたての餅で作ったいちご大福などが振る舞われ、来場者は旬を迎えた味覚に舌鼓をうっていました。



イチゴ狩りを楽しむ来場者

災害ボランティア養成講座開催



新聞紙で非常用スリッパ作りを行う参加者

村社会福祉協議会(金子松二郎会長)は1月28日、災害時のボランティア活動の知識や技術を習得するため、村地域活性化センターで災害ボランティア養成講座を開催しました。講座には村内から約50人が出席。防災工作体験では、受講者が新聞紙でスリッパや、キッチンペーパーでマスク作りを体験。県社会福祉協議会や日本赤十字社県支部の職員らによる講義、炊き出し体験なども行われました。

生越太鼓が県表彰を受賞

生越太鼓(林雄一代表)は昨年11月10日、群馬県庁で群馬県文化奨励賞を受賞しました。

これは、生越太鼓が平成15年の結成以来、村内で行われる様々な行事やイベントにおいて積極的に演奏活動を行い、和太鼓の鑑賞機会の提供に努めるとともに、和太鼓演奏技術の伝承を行うなど、村の文化力向上に大きく貢献したことが認められたもの。生越太鼓の今後の更なる活躍が期待されます。



受賞した生越太鼓の皆さん

身近な話題・情報をお寄せください。連絡先は、役場企画課 ☎24-5111です。

少年野球で座禅体験



座禅会に参加した子どもたち

昭和東少年野球クラブは12月27日、川龍寺を訪ね座禅会を行いました。

この日は、12人の子どもたちが参加。呼吸を整えて精神を統一し、座禅を組んだり般若心経を唱えたりするなど、日頃なかなか経験できない貴重な修行体験をしました。

輪投げ大会で楽しく交流

ふれあいいきいきサロンと学童クラブ合同の輪投げ大会が12月25日、村総合福祉センターで行われました。このイベントには、村内各所のサロンと村内3学童クラブから合計95名が参加。12か所のコートに分かれて輪投げの熱戦を繰り広げ、6歳から94歳までの、世代を超えた交流の輪が広がりました。



輪投げで交流の輪

ひまわり大学で介護予防



トレーニングを体験する参加者

村教育委員会が主催するひまわり大学が1月22日、村公民館で行われました。

この日は、村役場職員の関裕子保健師を講師に招き、「高齢者を支える地域づくり・筋トレで介護予防」と題し介護予防について学びました。

講座では、現在、村内各地の「ふれあいいきいきサロン」で行われている筋力トレーニングが、村で普及していった経緯やその効果について説明があり、後半は実際に足に重りを付けてトレーニングを体験。参加者は効果を実感していました。

道の駅でどんど焼き

道の駅「あぐりーむ昭和」では1月14日、同道の駅隣接のあぐりーむ農園で毎年恒例のどんど焼きを行いました。

やぐらには各家庭などから持ち寄られただるまやお正月飾りが積まれ、川額八幡宮で宮司を務める竹内博道さんによるご祈祷の後、堤村長により午前11時に点火。燃え上がる炎とともに白い煙が勢いよく立ち昇りました。

当日は、村内外から約300人が詰めかけ、どんど焼きの火で体を暖めながら、今年一年の無病息災を祈りました。また、会場では餅や甘酒などが来場者に振る舞われました。



勢いよく燃え上がるやぐら